

Cisco Business Dashboardとネットワークプラグアンドプレイで次のITプロジェクトを立ち上げることで時間を節約

目的

Cisco Business Dashboardを使用して新しいデバイスを自動的にスキャンしてプロビジョニングすることで、新しいITインフラストラクチャを迅速かつ簡単に起動できます。ネットワークプラグアンドプレイ（ネットワークPnP）機能は、シスコのゼロタッチ導入をサポートします。シスコのビジネスダッシュボードには、すぐにネットワークPnPが搭載されています。

該当するソフトウェア | バージョン

- Cisco Businessダッシュボード | 2.2

サポートされているクライアントとデバイスの詳細なリストについては、[ここをクリックしてください](#)。

ネットワークPnPはどのような問題を解決しますか。

ネットワークPnPは、新しいITインフラストラクチャの展開に関する従来の作業の多くを排除します。プロビジョニングからデバイス検出まで、アクセスのカスタマイズ可能なオプションを使用して、リモートインターフェイスからネットワークの展開を管理できます。ネットワークPnPがなければ、ネットワーク技術者はデバイスを1つずつ開梱して設定する必要があります。これで、ゼロタッチでファームウェアをプロビジョニングしたり、プロジェクト内のデバイスのスタートアップコンフィギュレーションを更新したりできます。

ネットワークPnPの仕組み

この機能をサポートするデバイスは、ネットワークPnPサーバに接続できます。デバイスがネットワークPnPサーバに接続すると、一連のルールによって識別され、PnP対応デバイスのリストに保存されます。デバイスは、そのデバイスの照合に使用される方法の精度に従ってプロビジョニングされます。PnP対応デバイスがCisco Business DashboardであるネットワークPnPサーバ上のアドレスを検出する方法は4つあります。4つの検出方法は、手動設定、DHCP、DNS、プラグアンドプレイ接続サービスです。

PnPは、DHCPディスカバリを使用せずに動作できます。ただし、PnP対応デバイスがDHCP経由でPnPサーバのアドレスを検出するには、デバイスがオプション60フラグを使用してDHCPサーバに接続する必要があります。このオプション60フラグには、ネットワークPnPサーバのアドレスに対するデバイスの要求を示す文字列「ciscopnp」が含まれています。DHCPサーバは、オプション60フラグを受信すると、Network PnPサーバの完全なアドレスを含むオプション43タグを使用して現物応答します。スイッチでのPnPの設定の詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

よし始める準備はできてる次は何だ？

最初にデバイスの追加を開始したい場合は、代わりに[イメージ]または[構成]をクリックしてください。選択するオプションは、ネットワークのニーズによって異なります。このガイドでは

、両方の例について説明します。

手順 1

Cisco Business Dashboard Administration User Interface(UI)にログインします。

English ▾



Cisco Business Dashboard

User Name*

This field is required

Password*

Login

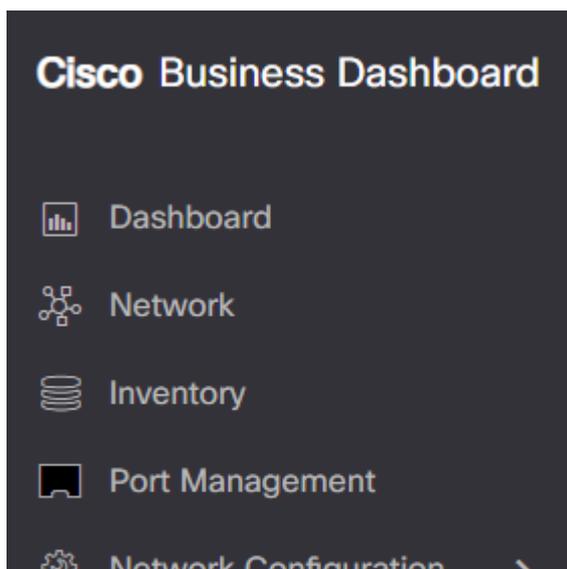
手順 2

メニューボタンをクリックします。



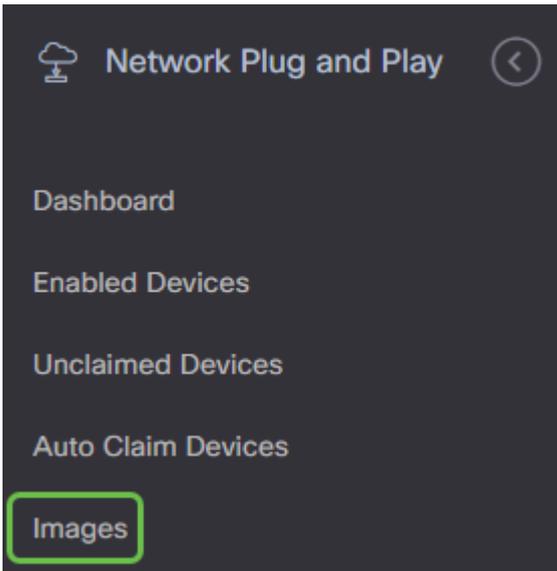
手順 3

ネットワークプラグ&プレイボタンをクリックします。



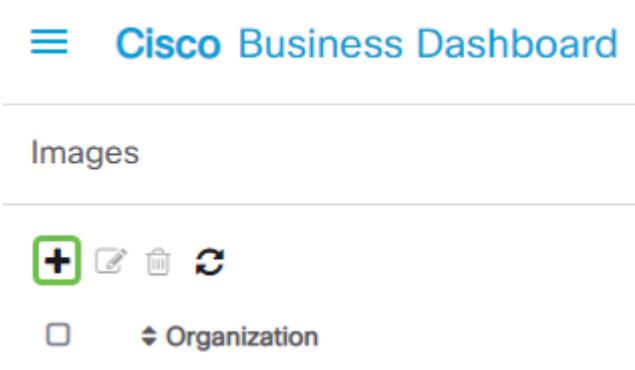
手順 4

[イメージ]ボタンをクリックします。



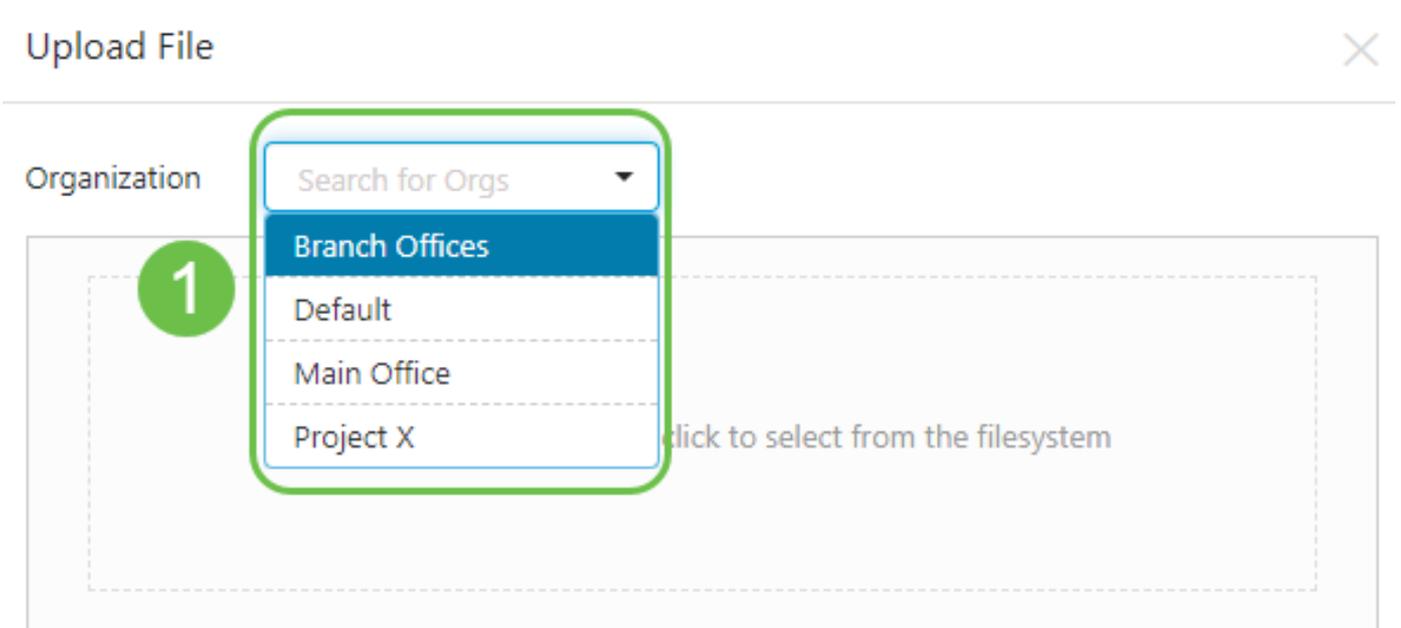
手順 5

[+]アイコンをクリックします。



手順 6

複数の組織がある場合は、ドロップダウン矢印をクリックして該当する組織を選択する必要があります。このイメージは、その組織のデバイスに対してのみ表示されます。



ステップ7

この時点で、ダッシュボードに画面が表示され、ファイルをボックスにドラッグアンドドロップするか、ボックス内をクリックしてファイルのアップロードダイアログをブラウザで開くように求められます。目的のファイルを選択し、[アップロード]ボタンをクリックします。

Upload File ✕

Organization

Drag and drop file here, or click to select from the filesystem

テンプレートの詳細については、をクリックしてプラグアンドプレイ構成[テンプレートの記事を参照してください](#)。

Cisco Business Dashboardでは、特定のファイルタイプしか受け入れられないことに注意してください。ファームウェアイメージの場合は、*Firmware_File.Bin*ファイルを使用します。設定ファイル関数は、*Config_File.XML*または*Config_File.TXT*を受け入れます。

手順 8

必要に応じて、設定ファイルまたはイメージファイルを追加する手順を繰り返します。
[Configurations]セクションボタンは、[Images]ボタンのすぐ下に表示されます。

Network Plug and Play

Dashboard

Enabled Devices

Unclaimed Devices

Auto Claim Devices

Images

Configurations **2**

Settings

All Organizations Search by keyword

Product ID	Description	Create Time
RV345P-K9*	PnP configuration template for Cisco Small Business RV345P router, version 1.0	Aug 11 2020 10:09
RV345P-K9*	PnP configuration template for Cisco Small Business RV345P router, version 1.0	Aug 11 2020 11:09
RV345P-K9*	PnP configuration template for Cisco Small Business RV345P router, version 1.0	Aug 11 2020 09:59
RV345P-K9*	PnP configuration template for Cisco Small Business RV345P router, version 1.0	Aug 11 2020 11:10
RV345-K9*	PnP configuration template for Cisco Small Business RV345 router, version 1.0	Aug 11 2020 11:10

cisco Logout

デバイスに適用される設定は、スタートアップコンフィギュレーションであり、実行コンフィギュレーションではありません。

ニーズに応じたパスの分散

手動方式：個々のデバイスの設定とイメージを制御する場合は、これを選択します。

自動申請方法：製品IDのみに基づいてデバイスをプロビジョニングする場合は、このオプションを選択します。これは簡単なオプションです。

無視：このオプションを選択すると、すべての設定またはファームウェアのインストールを処理することをネットワークPnPに通知します。

決定要因は、プロビジョニングオプションを個別のデバイスまたはデバイスカテゴリごとに制御する必要がある精度です。

メソッド プロビジョニングの精度 必要な情報

手動	低い	N/A
自動要求	中	PID
無視	非常に高い*	N/A

この時点で、パスは、このプロジェクトのニーズに応じて異なります。自動申請方法を使用する場合は、読み続けてください。または、「[手動でデバイスを要求する](#)」または「[デバイスを無視する](#)」[セクションに移動できます](#)。

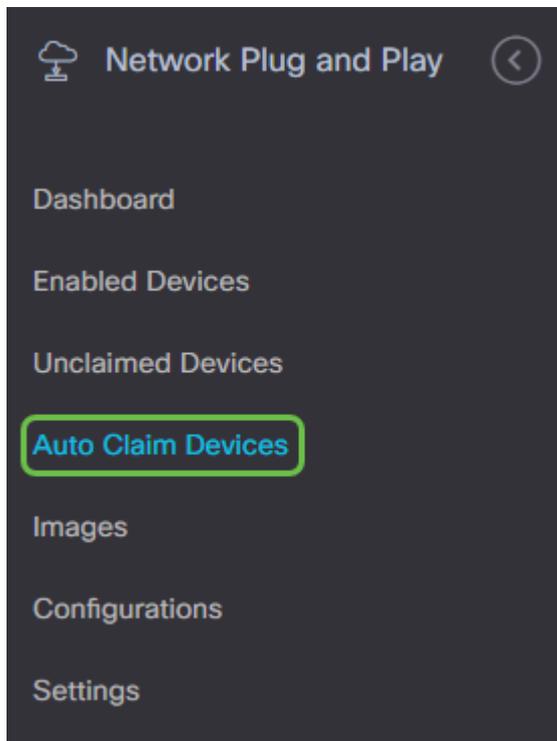
自動請求方法の使用

自動要求はフィルタベースの機能とを考えてください。デバイスをプロジェクトに動的に移行する

には、プロジェクトの製品ID(PID)を確認する必要があります。次に、ネットワークPnPは一致するPIDをスキャンし、PnP対応デバイスのリストに追加します。

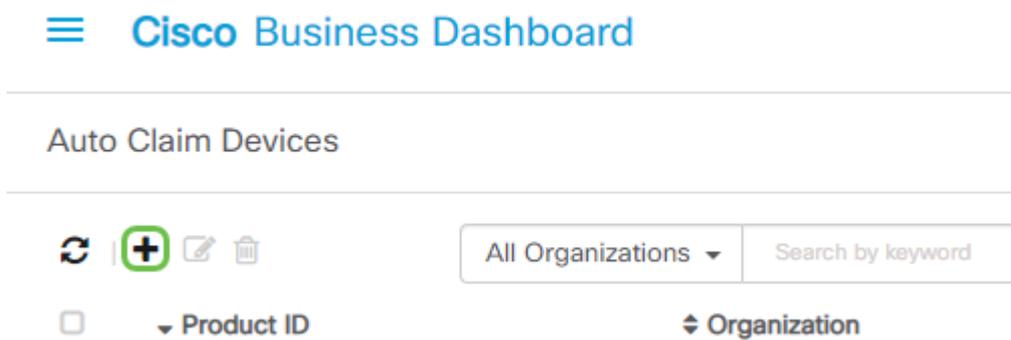
手順 1

このプロセスを開始するには、[Auto Claim Devices]をクリックします。



手順 2

[+]アイコンをクリックします。



手順 3

自動申請するデバイスの製品ID、組織、ネットワーク、デバイスグループ、デバイスタイプを入力します。

Product ID	SG350-8PD-K9 ✓
Organization	Branch Offices ▼
Network	Branch 1 ✓
Device Group	Branch Offices ✓

手順 4

[next] をクリックします。



手順 5

ドロップダウンボックスから目的のファームウェアと設定を選択します。

A screenshot of a web form. The top section has 'Product ID' set to 'SG350-8PD-K9' and 'Network' set to 'Branch 1'. Below this is an 'Image' section with a dropdown menu showing 'Select An Image' and a search box labeled 'Search to select'. The bottom section is 'Configuration' with a dropdown menu showing 'Select A Configuration'.

手順 6

[Finish] をクリックします。



この操作が完了したら、ネットワークPnPサーバはイメージと設定を使用して、ネットワークに接続し、そのPIDに一致するデバイスをプロビジョニングします。

ステップ7

または、自動要求デバイスを編集する場合は、デバイスの横にあるチェックボックスをクリックし、編集アイコンをクリックします。

Auto Claim Devices

<input checked="" type="checkbox"/>	Product ID	Organization	Network	Device Group	Device Type
<input checked="" type="checkbox"/>	SG350-8PD-K9	Branch Offices	Branch 1	Branch Offices	Switch

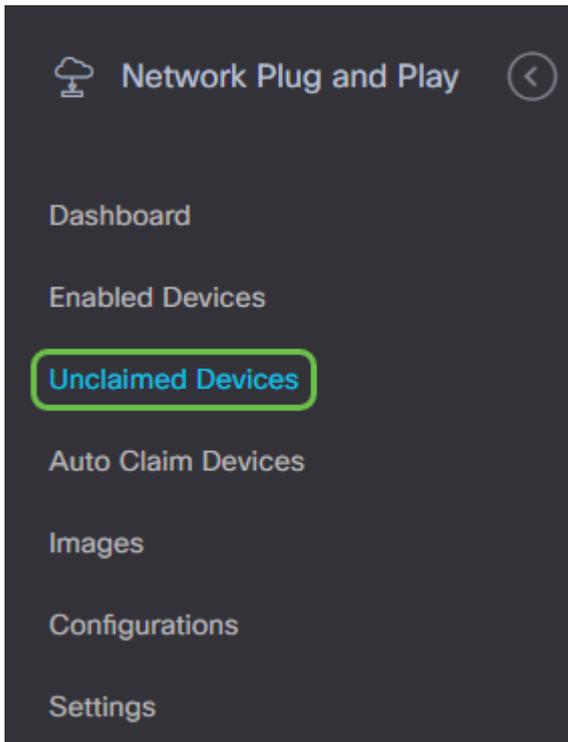
20 Per Page

デバイスの手動請求または無視

フィルタに一致しないがネットワークPnPをサポートしているデバイスは、まだCBDインベントリにないデバイスである場合にのみ、ネットワークPnPの未請求デバイスセクションに表示されます。

手順 1

[ネットワークプラグアンドプレイ]ナビゲーションペインで、[要求されていないデバイス]をクリックします。



手順 2

表示されたデバイスを選択し、[要求]または[無視]をクリックします。

デバイスを無視すると、ネットワークPnPサーバは設定やファームウェアを使用してデバイスをプロビジョニングできなくなります。このオプションは、各デバイスの設定とファームウェアを手動で更新する場合に使用します。無視リストにデバイスが追加されても、デバイスはネットワークPnPに影響されません。



手順 3

[請求]を選択した場合、次の情報を入力します。

Device Name	(none)
Product ID	WAP571-A-K9
Serial Number	[Redacted]
Device IP	[Redacted]
Organization	Branch Offices
Network	Branch 1 ✓
Device Group	Branch Offices ✓

手順 4

[next] をクリックします。



手順 5

ドロップダウンボックスから目的のファームウェアと設定を選択します。

A screenshot of a configuration form. The form has several sections: 'Serial Number' with a color-coded bar, 'Product ID' with the value 'WAP571-A-K9', and 'Network' with the value 'Branch 1'. Below these is an 'Image' section with a dropdown menu showing 'image_tesla_hybrid_2.5.5.47_release_cisco_signed.bin'. Below that is a 'Configuration' section with a dropdown menu. A green box highlights the 'Image' and 'Configuration' sections.

手順 6

[next] をクリックします。



ステップ7

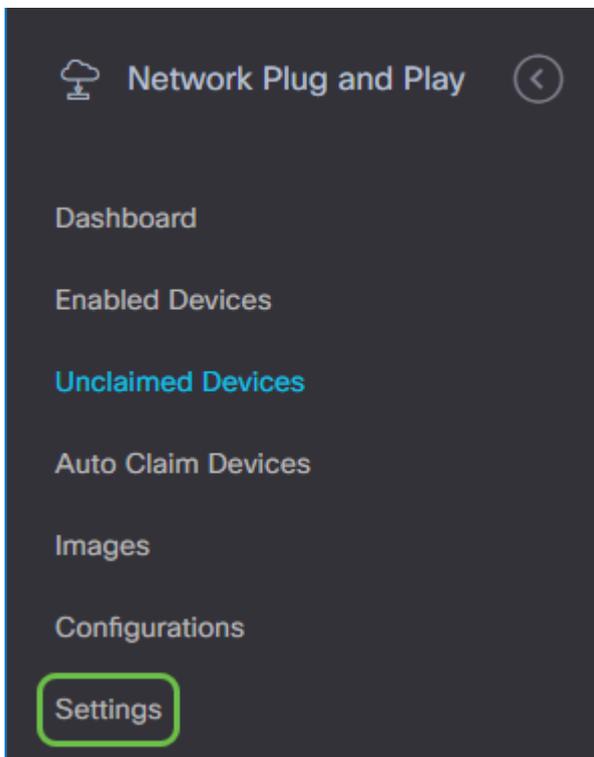
このデバイスのサマリーページが表示されます。[Finish] をクリックします。



コーヒーや紅茶を手に入れて休憩します。選択したデバイスを見無視または要求しただけです。

デバイスが更新をチェックインするのはいつですか。

デバイスが更新をチェックインするまでの時間を変更できます。「プラグアンドプレイ」で「設定」を選択します。



デバイスが制限内で更新をチェックする頻度を変更できます。0は受け入れられません。2880は最大時間です。新しい間隔を入力したら、[保存]をクリックします。

☰ Cisco Business Dashboard

Settings

System Default

Check In Time Interval (min)

1

2880

Organization Setting

Organization

Branch Offices

Check In Time Interval (min)

2880

2

Save

結論

おめでとうございます。今後のプロジェクトをコンセプトから実行に移す準備が整いました。Cisco Business Dashboardの詳細については、CBDサポートページを[参照してください](#)。

プラグアンドプレイの詳細については、[Network Plug and Play Solution Guide for Cisco Business](#)を[参照してください](#)。